

# タイの人々と伝統に触れた視察研修

タイのソンクランは、毎年4月13日から15日の旧正月に当たり、タイ全土で行われる「水かけ祭り」が有名です。水かけ祭りは、もとは年長者の手に水をかけて敬意を表して清めるという風習があり、それが高じて沿道走る車やバイクを目がけて水をかけたり、車の上から沿道にいる人たちに向けて水をかけたりするお祭りとなりました。

研修では、早朝に国境付近をパレードする僧侶に托鉢をし、市役所近くのお寺でタイのお詣りをした後、水かけ祭りに参加しました。

沿道に水をいっぱいに入れたドラム缶を数本用意し、その水をバケツなどにすくって道行くオートバイなどに目がけて水をかけました。またバケツ片手にトラックの荷台に乗り、沿道からバケツやホースで水をかけられたり、トラックの上から水をかけて、祭りに参加しました。

メーサイ市では、サイ川に架かる国境の橋や朝市なども視察。2018年6月にサッカー少年ら13人が行方不明となり、18日後に奇跡的に救出されたタムロワン洞窟も訪れました。

バンコクに移った一行は、ワットアルンなどの寺院を視察し、16日には世界遺産のアユタヤを訪問。バンコク中心部なども訪れ、タイの歴史的な建造物や寺院などを視察する一方、高速やモノレール、地下鉄が縦横に走る近代化していくバンコク中心部も訪れました。

2019年4月22日

